

公共交通に関する住民懇談会を開催しました

概要

第3次一宮市公共交通計画の策定にあたり、地域の皆様と一緒に公共交通について考えるために令和5年1月22日（日）に住民懇談会を開催しました。

内容

- ① 公共交通の情報提供
名古屋大学大学院の方に情報提供をしていただきました。
- ② グループワーク
 - ・グループワークで地域の方が「どこへ」「どんな目的で」「どんな手段で」「どの程度の頻度で」移動しているかを地図に記入してもらいました。
 - ・i-バスの利用状況や移動の困りごとについて意見をいただきました。

グループワークでの主なご意見

【i-バス】

- ・門間地区はバス停がないのでそもそも使えない。介護の送迎車も多いためニーズはあると思われる。
- ・JR木曾川駅は通るが、名鉄新木曾川駅に行けない。バスが乗り入れると便利になる。
- ・郵便局や銀行などへ行けない方あり。バスで行けるようになるとよい。
- ・JR木曾川駅を中心・拠点として、東側のバス、西側のバスと2ルートに分けてはどうか。
- ・バス停を増やすべき。小回りのきく車両で使いやすくしてほしい。
- ・子供と一緒にバスに乗ると地域を発見できる。
- ・名鉄玉ノ井駅は、バス停が駅から200m離れているため、駅直近まで延伸してほしい。

【企業送迎車両】

- ・葉栗では、昼間空いている送迎車両を活用した「お買い物ツアー」を実施している。木曾川でも同様な取り組みができるかもしれない。

【新しい交通】

- ・堤防沿いのエリアは、堤防が二重で整備されているため、高齢者や子育て世代などの移動が大変である。まずは信号設置をしてほしいが、新しい移動支援が必要である。

今後の開催について

今後も懇談会を開催し、ご意見等を伺う予定です。

